SHARP

X68000用

SOFTWARE

SX-WINDOW ver1.1

導入マニュアル

CZ-278SS

はじめに

このたびは、「SX-WINDOW ver1.1」をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。「SX-WINDOW ver1.1」は、X68000のために作られたウィンドウシステムです。ご使用に際しては、必ず本説明書に記載されている操作方法・注意事項をよくお読みいただき、正しい操作によって有効に活用されるようお願い致します。

商品構成は、下記の通りです。

SX-WINDOW ver.1.1 システムディスク……………………………………	1枚
SX-WINDOW ver.1.1 アプリケーションディスク………………………	1枚
SX-WINDOW ユーザーズマニュアル(本体同梱用)……………………	1冊
SX-WINDOW 導入マニュアル……………………………………………	1冊
登録カード………………………………………………………………	1通

また、本マニュアルは「SX-WINDOW ver.1.1」を導入するにあたって必要なこと、補足説明に関してまとめています。まず、本書をお読みになった上で、「SX-WINDOWユーザーズマニュアル」をご覧ください。

〈ご注意〉

1．本書の内容については万全を期して作成致しましたが、万一ご不審な点や誤り記載もれなど、お気付きのことがありましたら、もよりのシャープお客様ご相談窓口あるいはお買い求めの販売店にご連絡ください。
2．運用した結果の影響については、1項にかかわらず責任をおいかねますのでご了承ください。
3．本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。
4．本書の内容の一部または全部を無断転載することは、禁止されています。
5．付属の登録カードは必ず弊社までご返送ください。無登録の方は、一切のユーザーサポートが受けられませんので、ご注意ください。

目　次

はじめに……………………………………………………………………………………………………1
目　次………………………………………………………………………………………………………2
１．ご使用いただく前に………………………………………………………………………………3
２．ハードディスクへのインストール方法 ……………………………………………………………5
補足（ショートカット操作一覧） ……………………………………………………………………10

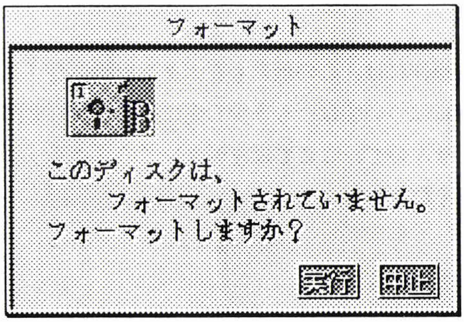
1．ご使用いただく前に

本製品には、種々のプログラムやデータが含まれた大切なフロッピーディスクが添付されています。これらのフロッピーディスクを不慮の事故から守るために、ご使用になる前に必ずバックアップコピーを作成し、実際の操作ではバックアップディスクをお使いください。
バックアップコピーの作成にあたっては、ブランクディスク２枚を用意し次の手順で行ってください。

(1)　フロッピーディスクのバックアップコピーの作成

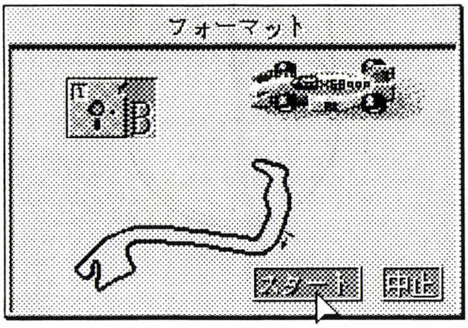
①まず、フロッピーディスクドライブ０に付属のSX-WINDOWシステムディスクを入れて、コンピュータ本体を起動します。本節では、フロッピーディスクドライブ０からシステム起動している場合を前提に説明していますので、ディスクトップ画面上ではフロッピーディスクドライブ０がドライブA(ドライブアイコンA)にフロッピーディスクドライブ１がドライブB(ドライブアイコンB)に対応しています。なお、ここでいうドライブアイコンとは、デスクトップ画面の右上のフロッピーディスクの形をしたアイコンを指します。ドライブアイコンについての詳細は、「SX-WINDOWユーザーズマニュアル」を参照してください。

②次に、フロッピーディスクドライブ１にお買い上げになられたばかりの新品のフロッピーディスク（フォーマットされていないもの）を挿入すると、次のようなメッセージが表示されます。



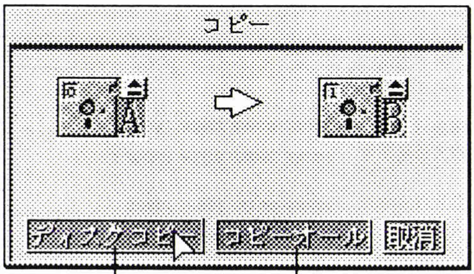
新品のフロッピーディスクは、そのままでは使用できません。このため、中にデータを書き込めるような準備を整える(データを書き込めるように区分けをする)作業が、フォーマット(初期化)です。

③フロッピーディスクドライブ１に挿入されているフロッピーディスクをフォーマットするために、マウスのポインタを〝実行〟まで移動して、左ボタンをクリックし、次に表示される〝スタート〟の位置で、左ボタンをクリックします。すると、フォーマットが始まり、しばらくしてフォーマットが終了すると、ドライブアイコンBの中に、フロッピーディスクの絵が表示されます。
なお、ここでフォーマットをしない場合は、〝中止〟を左ボタンでクリックしてください。



※すでにデータが記憶されているフロッピーディスクをフォーマットするとデータはすべて消えてしまいます。したがって、必要なフロッピーディスクを誤ってフォーマットしてしまうことのないよう十分に注意してください。

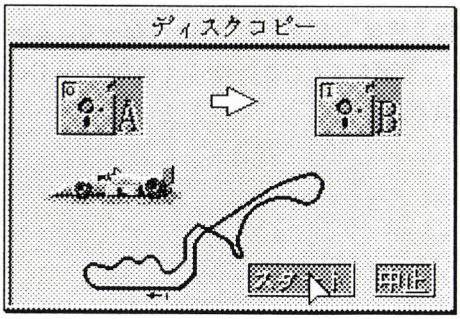
④マウスのポインタをドライブアイコンA（原本のシステムディスク）のセンターホールのほぼ中央に持っていってポイントし、左ボタンを押します。次に、左ボタンを押したまま、四角い点線がドライブアイコンB（コピー先のフロッピーディスク）にほぼ重なるまでドラッグします。ほぼ重なったら、左ボタンを離します。すると、次のようなメッセージが表示されます。



コピー先ディスクのデータをすべて消去しコピー元ディスクとまったく同じディスクを作成します。

コピー先ディスクのデータはそのままにしてコピー元のデータを新たに追加します。

⑤マウスのポインタを〝ディスクコピー〟まで移動して、左ボタンをクリックします。



よければ、マウスのポインタを〝スタート〟まで移動して、左ボタンをクリックします。なお、ここで中止したい場合は、〝中止〟を左ボタンでクリックしてください。

⑥すると、フロッピーディスクのオールコピーが始まり、正常に終了したら、システムディスクのバックアップコピーを作成したことになります。他のフロッピーディスクについても同様の方法でバックアップコピーを作成してください。

2. ハードディスクへのインストール方法

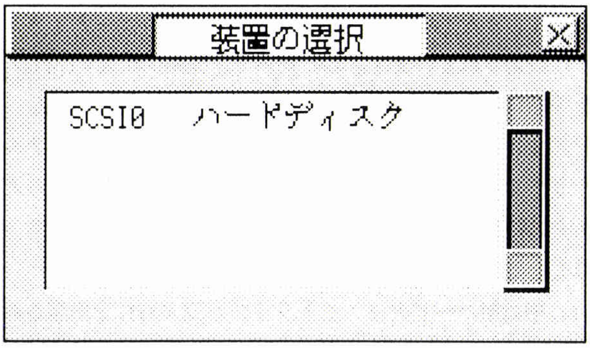
ハードディスクでSX-WINDOWをご使用になる場合は、まず始めに次のような手順にしたがって、ハードディスクを領域確保し、SX-WINDOWシステム、お手持ちの辞書ディスクの内容をハードディスクに転送して、ハードディスクからシステム起動するように設定しなおしてください。そうすることで、フロッピーディスクに比べより大量のデータを高速に設定できるというハードディスクの特長をご利用できます。以降は、本体外部にフロッピーディスクドライブを接続せずに内蔵ハードディスクを利用する場合を例に説明を進めます。

※SX-WINDOW ver.1.1では、ASK68K ver.2があらかじめ組み込まれています。辞書ディスクは、ASK68K ver.1対応のものでも動作しますが、拡張された機能を使う場合ASK68K ver.2対応の辞書ディスクが必要です。

①ハードディスクの領域確保

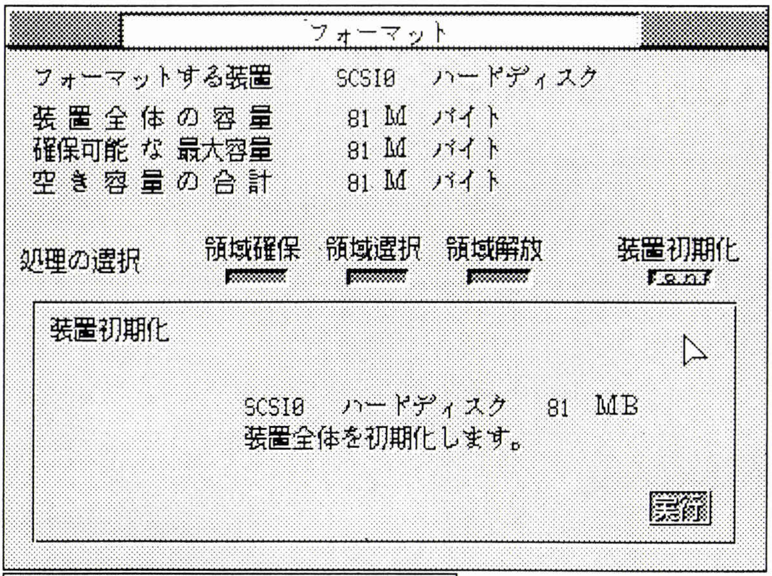
まず、フロッピーディスクドライブ0にSX-WINDOWシステムディスクを、ドライブ1にSX-WINDOWアプリケーションディスクを入れて、電源を入れてください。
しばらくすると次のようにディスクトップ画面が表示されます。

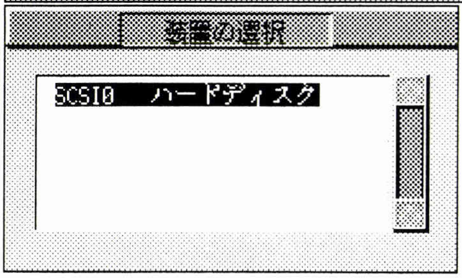
ポインタをドライブアイコンＢ（『SX-WINDOWユーザーズマニュアル』「第４章4.5ドライブアイコン」参照）まで移動して、左ボタンをダブルクリックすると、ドライブＢのウインドウが開きます。ポインタをドライブＢのウインドウのスクロールボックス内、△の中央へ移動し左ボタンをクリックするとウインドウ内のアイコンが上にスクロールし「ＨＤフォーマット.X」というアイコンがでてきます。「ＨＤフォーマット．X」というアイコンの上にポインタを移動し、左ボタンをダブルクリックすると次のような画面が表示されます。



※ハードディスクのタイプによって〝ＳＣＳ10″の表示は変化します。

ここで〝**ＳＣＳ10ハードディスク**″の文字の上にポインタを移動し、左ボタンをクリックすると次のようなウインドウが表示されます。





〝**フォーマット**〞ウインドウをクリックし、アクティブにし、〝**装置初期化**〞のすぐ下のボックスをクリックした後〝**実行**〞をクリックして装置の初期化を行います。

※すでにデータが記憶されているハードディスクを初期化すると、データはすべて消えてしまいます。したがって、必要なデータなどを誤って消さないよう、十分に注意してください。

装置の初期化が終了しましたら、〝**領域確保**〞のすぐ下のボックスをクリックした後確保する容量、システムを転送を〝**する**〞を指定します。なお、SX-WINDOWと辞書ディスクの領域を確保する場合、３ＭＢ以上の領域確保を行ってください。
〝**実行**〞をクリックすることで、領域確保が行われます。

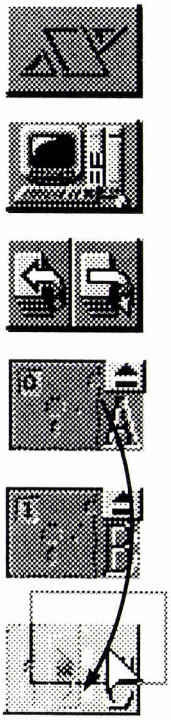
※システム転送を〝**する**〞と指定した場合、「COMMAND.Xが見つかりません」というメッセージがでます。これは「SX-WINDOW ver.1.0」のシステムディスクにCOMMAND.Xが入っていないためですが、SX-WINDOWの起動にCOMMAND.Xはとくに必要ありませんので、そのまま〝**確認**〞をクリックしてください。

〝**装置の選択**〞ウインドウをクリックし、アクティブにします。クローズボタン（『SX-WINDOWユーザーズマニュアル』「第３章3.1ウインドウの基本機能」参照）をクリックし、〝**確認**〞をクリックすると、SX-WINDOWがフロッピーディスクから再起動します。

②SX-WINDOWシステム、お手持ちの辞書ディスクの全ファイルを内蔵ハードディスクへ転送

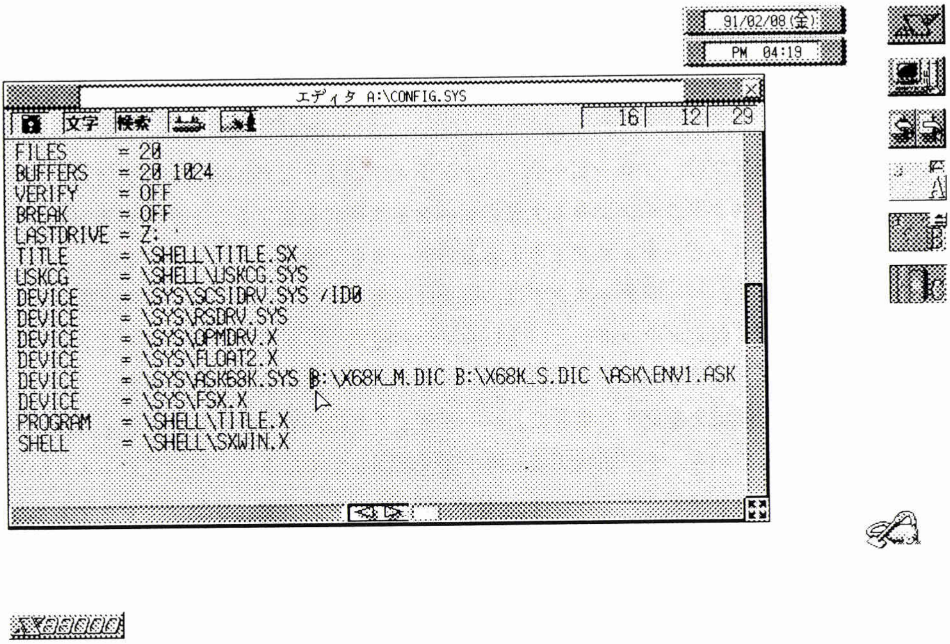
システムアイコン（『SX-WINDOWユーザーズマニュアル』「第４章4.2システムアイコン」参照）にポインタをかさねて右ボタンを押して表示されるポップアップメニューからドライブトレイを選択し、〝**ドライブトレイ**〞ウインドウを表示します。

〝**ドライブトレイ**〞ウインドウ内から領域確保したハードディスクのドライブアイコンをドラッグしてデスクトップ上に移動します。
つぎに、ドライブアイコンAをハードディスクのドライブアイコンの所までドラッグして重ねます。これによりドライブAのファイルがハードディスクに転送されます。同様手順でドライブBの内容をハードディスクに転送します。



ドライブアイコンBのイジェクトボタン（『SX-WINDOWユーザーズマニュアル』「第４章4.5ドライブアイコン」参照）をクリックしてディスクを取り出し、ドライブ１（ドライブB）に辞書ディスクを入れ、同様の手順で辞書ディスクの内容をハードディスクに転送します。

※前頁の〝**フォーマット**〞ウインドウの〝**領域選択**〞で確保した領域を自動起動に設定することにより、内蔵ハードディスクからシステムを起動する事ができます。前述の手順でシステムと辞書ディスクの内容を転送した内蔵ハードディスクからシステムを起動した場合、CONFIG.SYS ファイルを書き替える事によって、辞書が使用できるようになります。
次の手順でCONFIG.SYSファイルを下記の通り書き替えてください。
①「SX-WINDOW」の起動したドライブアイコンのウインドウをオープンします。
②そのウインドウ内の〝**CONFIG.SYS**〞ファイルをクリックして選択（反転状態）にします。
③デスクアクセサリアイコン（『SX-WINDOWユーザーズマニュアル』「第４章4.3デスクアクセサリアイコン」参照）のポップアップメニューからエディタを選択します。



④〝**エディタ**〞ウインドウ内の

DEVICE＝￥SYS￥ASK68K.SYS……

の行の〝**B：**〞の部分を全て〝**A：**〞に書き換えます。

※ハードディスクの領域を複数確保し、領域1以外に辞書を転送する場合は、〝B：〞の部分を辞書を転送したドライブ名に書き替えてください。(『SX-WINDOWユーザーズマニュアル』「第5章5.1.1エディタ」参照)。

※ASK ver.1対応の辞書ディスクをお使いの場合、￥ASK￥ENV1.ASKはいりません。

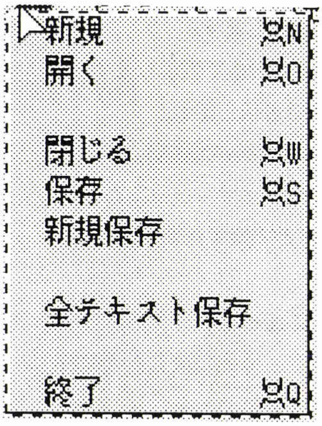
⑤〝**エディタ**〞ウインドウの左上ディスクアイコンで右ドラッグしポップアップメニューから保存を選択してセーブします。(ファイル名はそのままで〝**実行**〞をクリックします。)

これで、システム、辞書ディスクの全ファイルが内蔵ハードディスクへ転送され、フロッピーディスクを入れなくても、システムが起動されX68000を快適に使用する事ができます。

補　足（ショートカット）

ポップアップメニューからマウスで機能を選択する代わりに OPT.1 キーとアルファベットキーを同時に押すことで機能選択できるショートカットの操作があります。

次の様にポップアップメニューの右側に指マークとアルファベット文字がついているものがショートカット可能なメニューです。



各アプリケーションによってショートカットのサポートは異なりますが、代表的なものとして次のキー操作があります。

OPT.1	＋	Z	取り消し
OPT.1	＋	X	カット
OPT.1	＋	C	コピー
OPT.1	＋	V	ペースト
OPT.1	＋	Q	終了

シャープ株式会社

本　　　社　〒545 大阪市阿倍野区長池町22番22号
電子機器事業本部　〒329-21 栃木県矢板市早川町174番地
液晶映像システム事業部　第2商品企画部
お問い合わせ先　〒162 東京都新宿区市谷八幡町8番地　電話 (03)3260-1161(大代表)
東京支社内　液晶映像システム事業部　第2商品企画部　ソフトウエア担当